

伊勢崎佐波地区 景気動向調査

No.57 2017.4～6月期

Contents

- 概況 全業種業況判断 D.I.は改善傾向を維持するも
業種間の格差は鮮明に
- 特別調査 中小企業の3～5年後の事業の見通しに
ついて

 伊勢崎商工会議所

 アイオーしんきん

調査方法について

伊勢崎商工会議所とアイオー信用金庫が共同し、伊勢崎市及び佐波郡玉村町内の企業386社にご協力いただき、面談または聴取りによる調査の回答を集計したものです。

製造業、卸売業、小売業、建設業、サービス業の5つの業種について3か月ごとに景気の動きを調査し、最新の動きをまとめております。

独立行政法人中小企業基盤整備機構並びに日本商工会議所の実施する全国規模の調査結果を一部引用しております。また、毎回テーマを設け「特別調査」を実施しております。

今回の調査について

調査時期

2017年6月

調査内容

- ① 今期の状況：前年の同時期（2016年4月～6月）と比較した今期（2017年4月～6月）の状況及び前期（2017年1月～3月）と比較した今期の状況。
- ② 来期の見通し：前年の同時期（2016年7月～9月）と比較した来期（2017年7月～9月）の見通し。

調査方法

伊勢崎商工会議所及びアイオー信用金庫の調査員による面談または聴取り調査

調査対象企業数

伊勢崎市及び佐波郡玉村町内の企業 386社

回答企業数

368社

回答企業業種別内訳

下表のとおり

業種	回答企業数	調査対象企業数	回答率
製造業	109	117	93.2%
卸売業	25	29	86.2%
小売業	93	93	100.0%
建設業	59	61	96.7%
サービス業	82	86	95.3%
合計	368	386	95.3%

調査結果の分析について

調査結果の分析には、判断指数（Diffusion Index-D.I.）を用いております。この判断指数（D.I.）とは、「良い」とする回答数から「悪い」とする回答数を引き、全体に占める割合を算出したもので、この指数の変動により、景気の動いている方向を判断するために用いられます。

1. 業況

























全業種業況判断 D.I.は改善傾向を維持するも、業種間の格差は鮮明に

今期（2017.4～6）の企業の景況感を示す全業種の業況判断 D.I.は、 $\Delta 9.2$ と前期（2017.1～3： $\Delta 12.2$ ）との比較で 3.0 ポイント改善となりました。2016.7～9 期以降、2017.1～3 期の横ばいを挟んで改善傾向が続いています。業種別の判断 D.I.では、製造業、小売業、建設業で改善した一方、卸売業、サービス業で悪化しました。また、建設業、卸売業の業況判断がそれぞれプラス判断、マイナス判断に転じており、業種間の格差を感じる結果となりました。

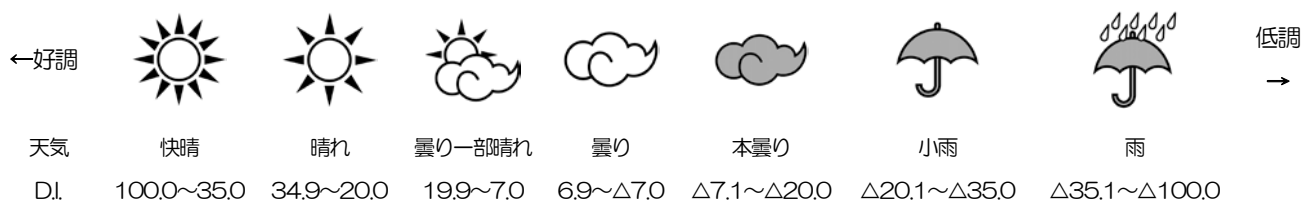
独立行政法人中小企業基盤整備機構が実施し、日本商工会議所他 2 団体が実査した全国調査（以後「全国調査」という。）との比較では、全国調査の業況判断 D.I. $\Delta 15.9$ を 6.7 ポイント上回っています。業種別でも当地域の業況判断 D.I.は、サービス業を除く業種で全国調査の業況判断 D.I.を上回る結果となっています。

来期（2017.7～9）の業況判断 D.I.の見通しは、 $\Delta 3.3$ と依然としてマイナスの判断が続くものの、今期（2017.4～6： $\Delta 9.2$ ）との比較で 5.9 ポイント改善するとしています。業種別では、卸売業では悪化すると予想していますが、卸売業、小売業、建設業では改善を見込んでいるほか、製造業ではプラスの判断に転じると予想しています。

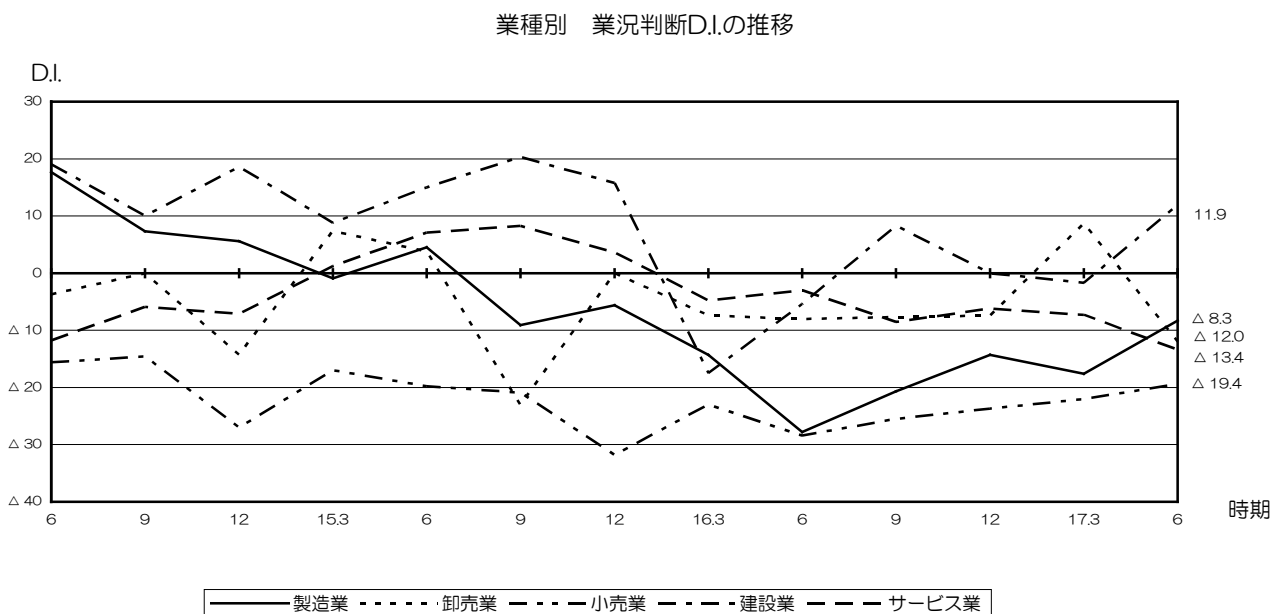
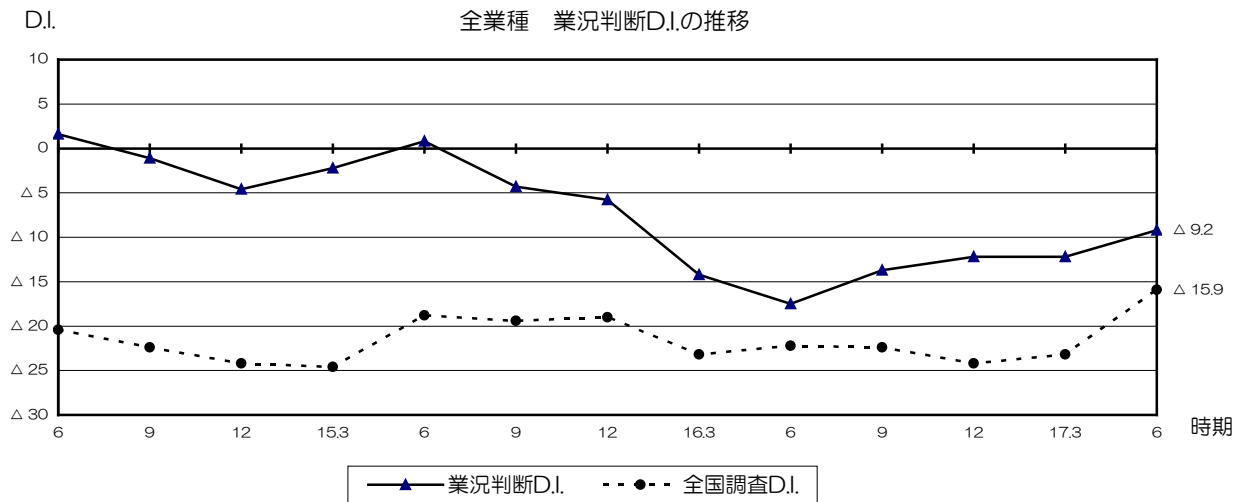
業 種 別 天 気 図

	前 期 2017.1～3月	今 期 2017.4～6月	全 国 調 査 2017.4～6月	来 期 見 通 し 2017.7～9月
全 業 種				
製 造 業				
卸 売 業				
小 売 業				
建 設 業				
サ ー ビ ス 業				

（この天気図は、景気指標を総合的に判断し作成したものです。また、全国調査は日本商工会議所の調査によるものです。）



2. 業況判断D.I.の推移



(対前年同期比判断D.I.)

	前 期 2017.1~3	今 期 2017.4~6	来 期 見 通 し 2017.7~9	全 国 調 査 2017.4~6
全 業 種	△12.2	△9.2	△3.3	△15.9
製 造 業	△17.6	△8.3	7.3	△11.7
卸 売 業	8.7	△12.0	△16.0	△15.6
小 売 業	△22.0	△19.4	△17.2	△28.7
建 設 業	△1.7	11.9	13.6	△8.2
サ ー ビ ス 業	△7.3	△13.4	△9.8	△12.5

(全国調査は日本商工会議所の調査によるものです。)

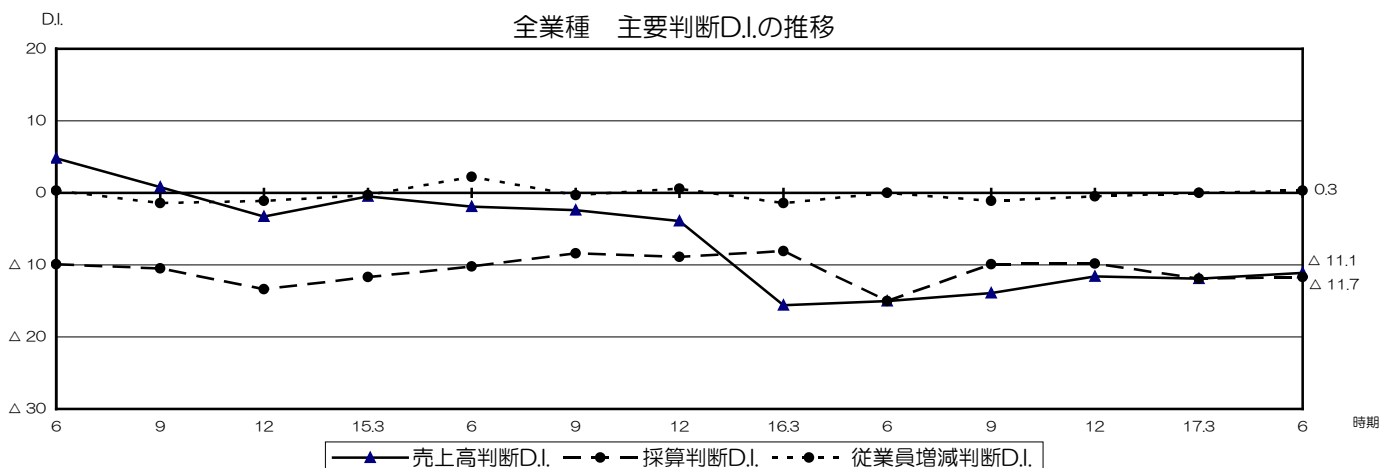
3. 売上高、採算、従業員増減の状況

(対前年同期比判断D.I.)

今期(2017.4~6)の売上高判断D.I.は $\Delta 11.1$ と、前期(2017.1~3: $\Delta 11.9$)との比較で0.8ポイント改善しています。また、資金繰り判断D.I.では0.7ポイント、採算判断D.I.では0.2ポイント、従業員増減判断D.I.では0.3ポイントそれぞれ改善となりました。

	前 期	今 期	来期見通し
売上高	$\Delta 11.9$	$\Delta 11.1$	$\Delta 1.9$
採 算	$\Delta 11.9$	$\Delta 11.7$	$\Delta 8.7$
従業員増減	0.0	0.3	4.4

来期(2017.7~9)の売上高判断D.I.は $\Delta 1.9$ と、今期(2017.4~6: $\Delta 11.1$)との比較で9.2ポイント改善すると見通しているほか、資金繰り判断D.I.、採算判断D.I.では各々3.0ポイント、従業員増減判断D.I.では4.1ポイントそれぞれ改善するとしています。



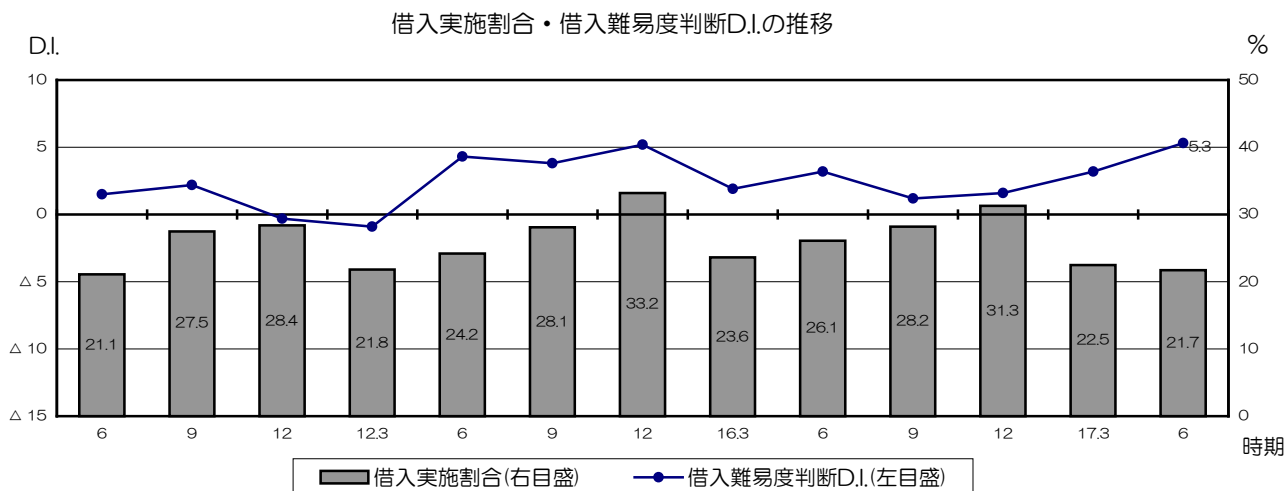
4. 借入金の状況

今期(2017.4~6)借入を実施した企業の割合は21.7%と、前期(2017.1~3: 22.5%)との比較で0.8ポイント減少しました。

	前 期	今 期	来 期 予 定
借入実施割合	22.5%	21.7%	18.9%
借入難易度判断D.I.	3.2	5.3	

来期(2017.7~9)借入を予定する企業の割合は18.9%と、今期(2017.4~6: 21.7%)との比較で2.8ポイント減少する見込です。

借入難易度判断D.I.は今期(2017.4~6)5.3と、前期(2017.1~3: 3.2)との比較で2.1ポイント改善しています。



1. 業況

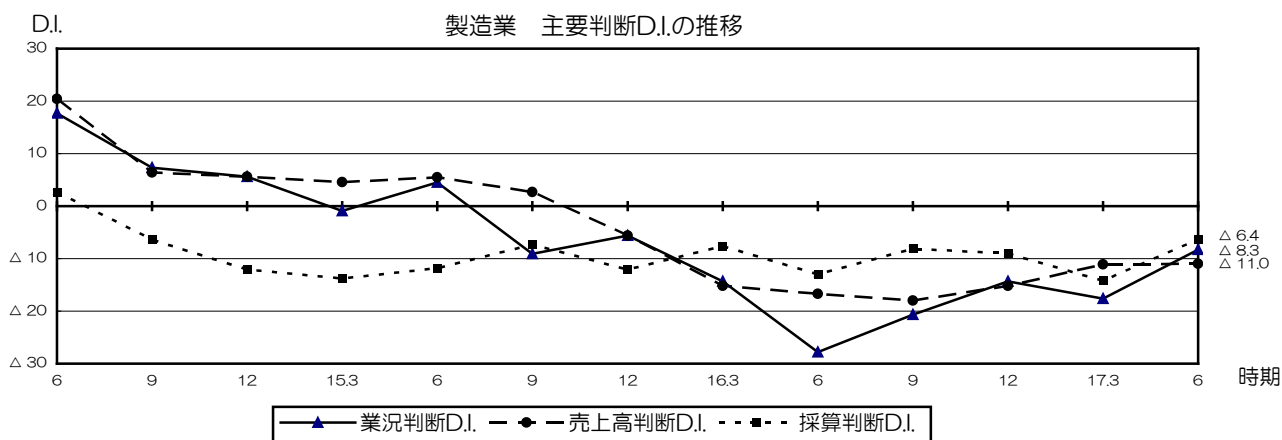
今期 (2017.4~6) の業況判断 D.I.は $\Delta 8.3$ と、前期 (2017.1~3 : $\Delta 17.6$) との比較で 9.3 ポイント改善しているほか、資金繰り、設備操業率を除く項目で前期を上回っています。

全国調査との比較では、業況判断 D.I.で全国調査の $\Delta 11.7$ を 3.4 ポイント上回っているほか、売上高、原材料仕入単価以外の項目で全国調査の判断 D.I.を上回る結果となりました。

来期 (2017.7~9) の業況判断 D.I.は 7.3 と、今期 (2017.4~6) との比較で 15.6 ポイントの改善を予想しているほか、原材料仕入単価、原材料在庫以外の項目で今期を上回ると予想しています。

(対前年同期比判断 D.I.)

	前 期	今 期	来期見通し	全国調査
業 況	$\Delta 17.6$	$\Delta 8.3$	7.3	$\Delta 11.7$
売上(加工)高	$\Delta 11.1$	$\Delta 11.0$	9.3	$\Delta 10.7$
資金繰り	$\Delta 4.6$	$\Delta 5.5$	$\Delta 0.9$	$\Delta 8.8$
採 算	$\Delta 14.2$	$\Delta 6.4$	0.0	$\Delta 14.4$
原材料仕入単価	13.0	18.3	18.3	33.9
原材料在庫	$\Delta 4.6$	0.9	$\Delta 0.9$	$\Delta 4.3$
従業員増減	$\Delta 3.7$	7.4	13.2	0.4
設備操業率	$\Delta 5.6$	$\Delta 6.4$	5.5	$\Delta 7.1$



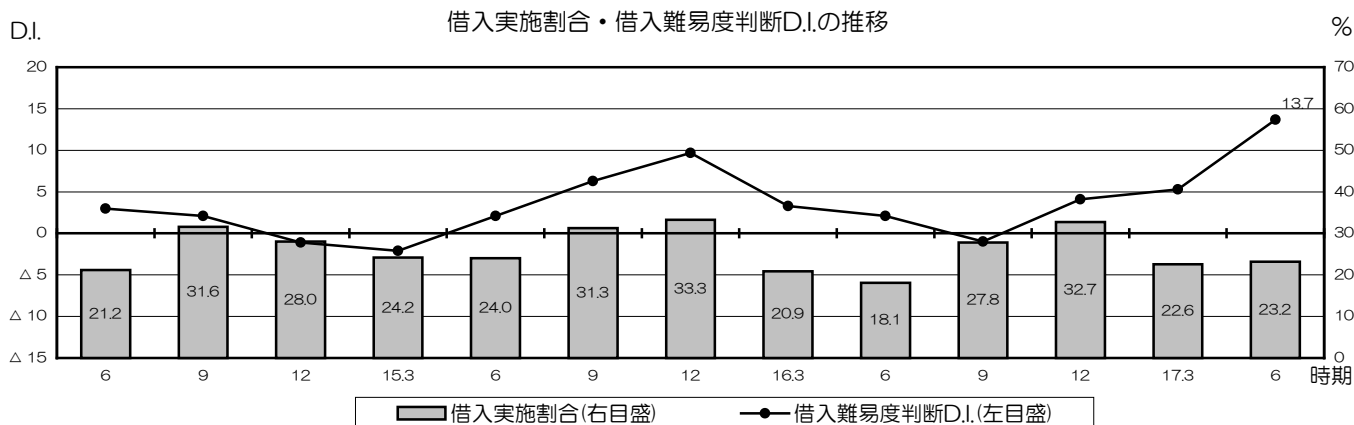
2. 借入金の状況

今期 (2017.4~6) 借入を実施した企業の割合は 23.2%と、前期 (2017.1~3 : 22.6%) との比較で 0.6 ポイント増加しました。

来期 (2017.7~9) 借入を予定する企業の割合は 20.2%と、今期 (2017.4~6 : 23.2%) と比較して 3.0 ポイント減少する見込です。

借入難易度判断 D.I.は今期 (2017.4~6) 13.7 と、前期 (2017.1~3 : 5.3) との比較では 8.4 ポイント改善しています。

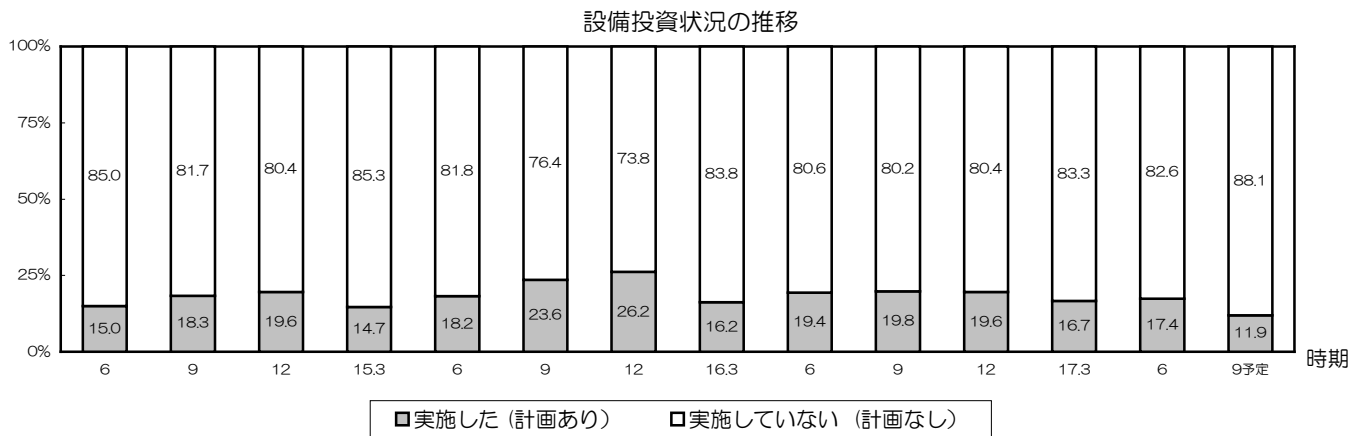
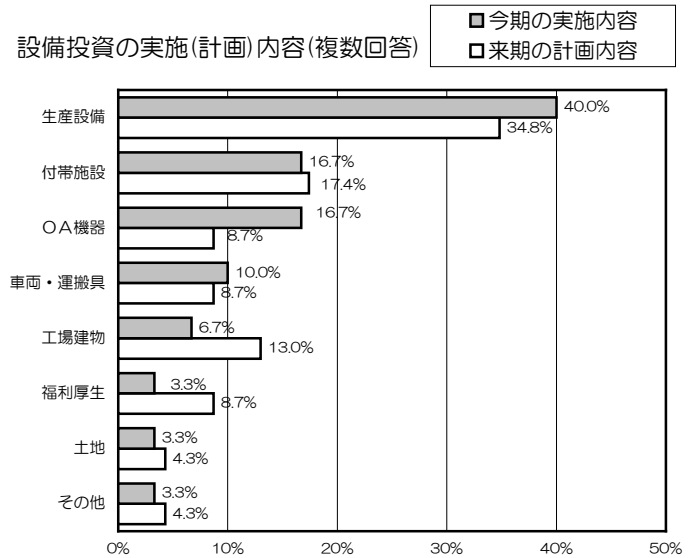
	前 期	今 期	来 期 予 定
借入実施割合	22.6%	23.2%	20.2%
借入難易度判断 D.I.	5.3	13.7	



3. 設備投資の状況

今期（2017.4～6）設備投資を実施した企業の割合は17.4%と、前期（2017.1～3:16.7%）との比較で0.7ポイント増加しました。設備投資の内訳は、生産設備が40.0%、付帯施設、OA機器が各々16.7%、車両・運搬具が10.0%、工場建物が6.7%、福利厚生、土地、その他が各々3.3%でした。

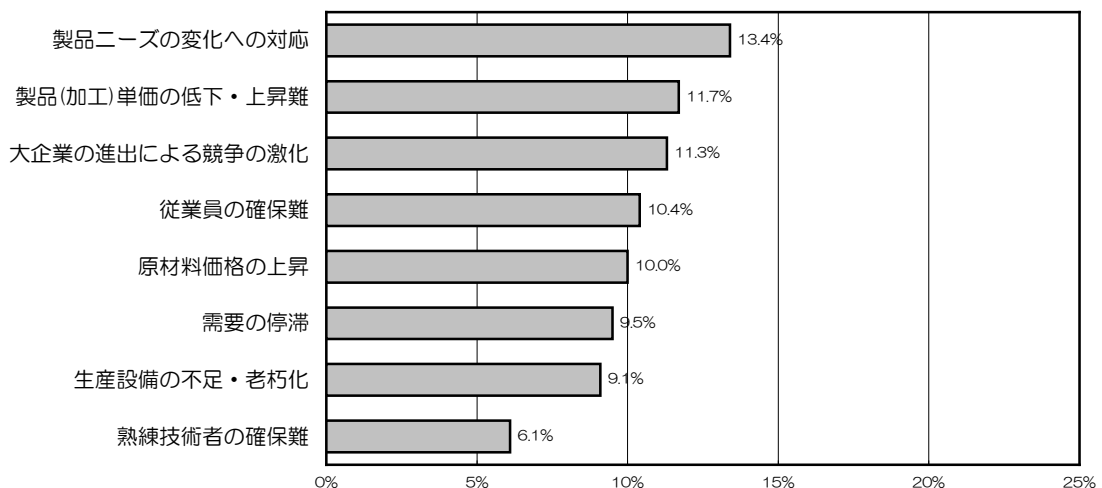
来期（2017.7～9）設備投資を計画する企業の割合は11.9%と、今期（2017.4～6）と比較して5.5ポイント減少する見込みです。設備投資の内訳は、生産設備が34.8%、付帯施設が17.4%、工場建物が13.0%、OA機器、車両・運搬具、福利厚生が各々8.7%、土地、その他が各々4.3%となっています。



4. 経営上の問題点

主な経営上の問題点は、第1位が「製品ニーズの変化への対応」で13.4%、第2位が「製品(加工)単価の低下・上昇難」で11.7%、第3位が「大企業の進出による競争の激化」で11.3%、第4位が「従業員の確保難」で10.4%、第5位が「原材料価格の上昇」で10.0%、第6位が「需要の停滞」で9.5%、第7位が「生産設備の不足・老朽化」で9.1%、第8位が「熟練技術者の確保難」で6.1%という結果になりました。

今期直面している経営上の問題点(複数回答)



卸売業

2017.4~6月期 (回答 25社・・・回答率 86.2%)

1. 業況

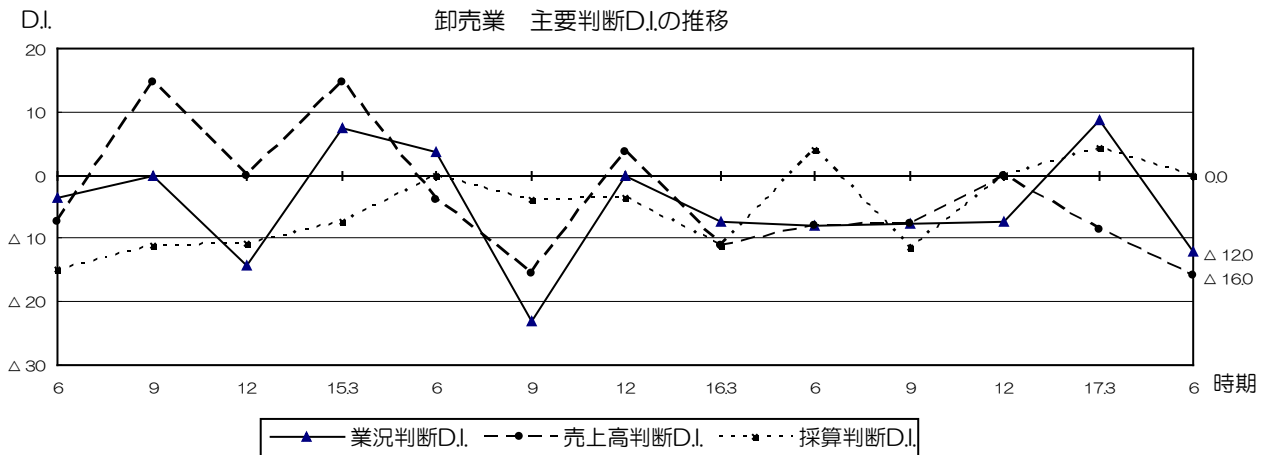
(対前年同期比判断D.I.)

今期(2017.4~6)の業況判断D.I.は $\Delta 12.0$ と、前期(2017.1~3:8.7)との比較で20.7ポイント悪化しているほか、売上高、採算、売上単価、仕入単価の項目でも前期を下回っています。

全国調査との比較では、業況判断D.I.で全国調査の $\Delta 15.6$ を3.6ポイント上回っているほか、売上高、資金繰り、採算、在庫数量の項目でも全国調査の判断D.I.を上回る結果となりました。

来期(2017.7~9)の業況判断D.I.は $\Delta 16.0$ と、4.0ポイントの悪化を予想する一方、売上高、資金繰り、仕入単価、従業員増減の項目では今期を上回ると予想しています。

	前 期	今 期	来期見通し	全国調査
業 況	8.7	$\Delta 12.0$	$\Delta 16.0$	$\Delta 15.6$
売 上 高	$\Delta 8.7$	$\Delta 16.0$	$\Delta 4.0$	$\Delta 16.6$
資 金 繰 り	$\Delta 4.3$	0.0	4.0	$\Delta 4.9$
採 算	4.3	0.0	0.0	$\Delta 16.8$
売 上 単 価	13.0	$\Delta 12.0$	$\Delta 16.0$	1.3
仕 入 単 価	13.0	8.0	24.0	26.5
在 庫 数 量	0.0	4.0	4.0	$\Delta 10.2$
従 業 員 増 減	0.0	0.0	8.3	0.6



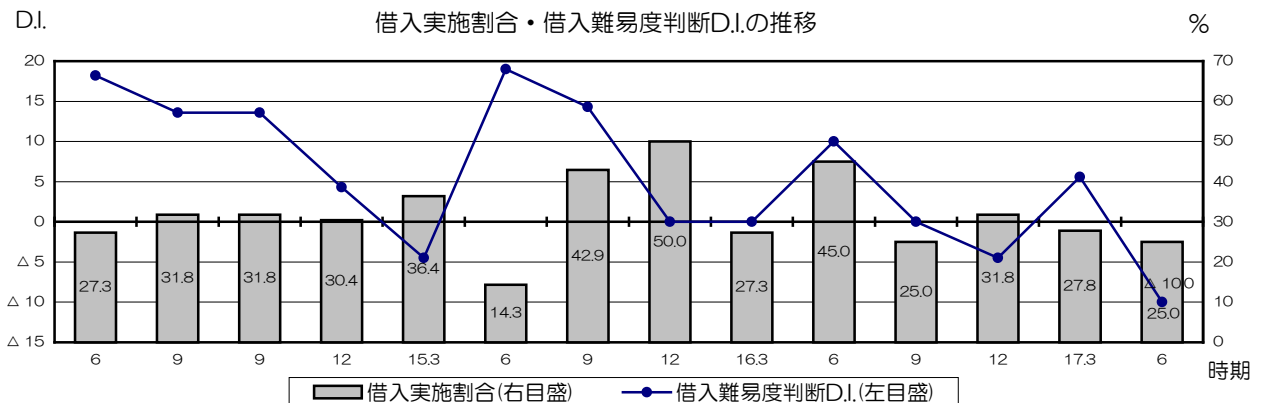
2. 借入金の状況

今期(2017.4~6)借入を実施した企業の割合は25.0%と、前期(2017.1~3:27.8%)と比較して2.8ポイント減少しました。

来期(2017.7~9)借入を予定する企業の割合は15.0%と、今期(2017.4~6)と比較して10.0ポイント減少する見込みです。

借入難易度判断D.I.は今期(2017.4~6) $\Delta 10.0$ と、前期(2017.1~3:5.6)との比較では15.6ポイント悪化しています。

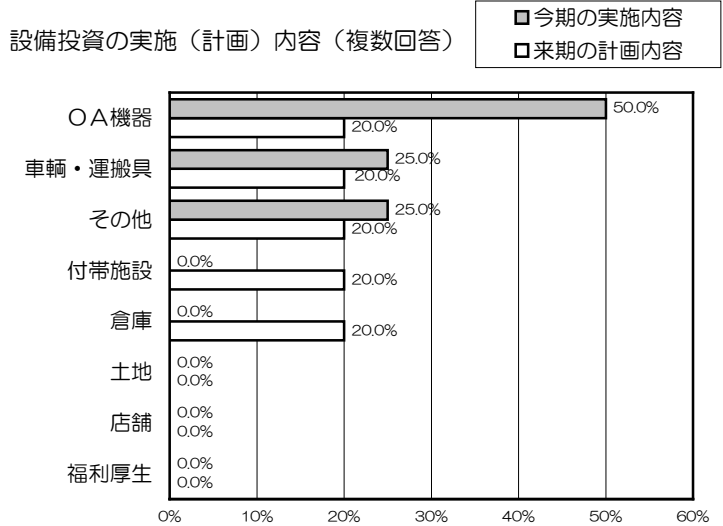
	前 期	今 期	来 期 予 定
借入実施割合	27.8%	25.0%	15.0%
借入難易度判断D.I.	5.6	$\Delta 10.0$	



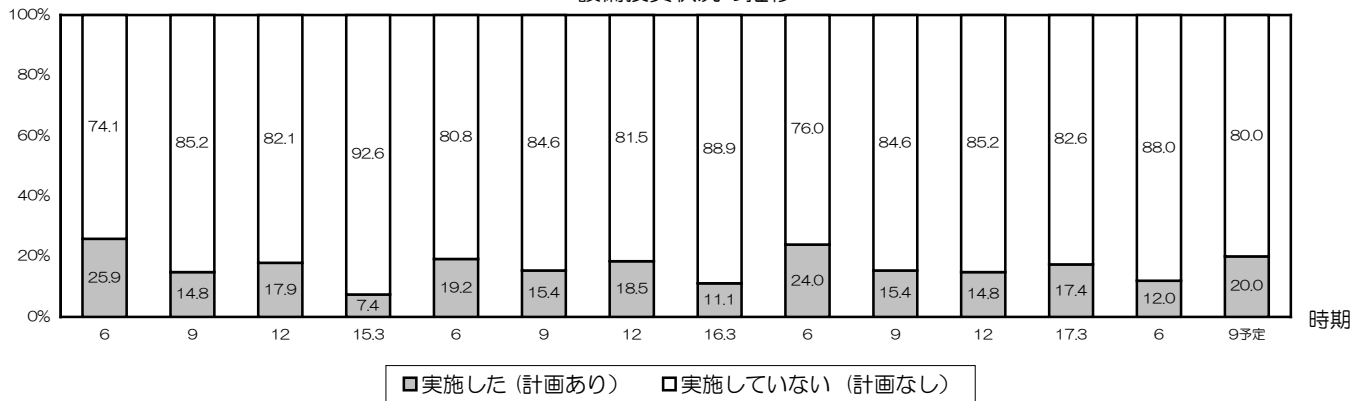
3. 設備投資の状況

今期（2017.4～6）設備投資を実施した企業の割合は12.0%と、前期（2017.1～3：17.4%）との比較で5.4ポイント減少しました。設備投資の内訳は、OA機器が50.0%、車両・運搬具、その他が各々25.0%でした。

来期（2017.7～9）設備投資を計画する企業の割合は20.0%と、今期（2017.4～6）との比較で8.0ポイント増加の見込みです。設備投資の内訳は、OA機器、車両・運搬具、その他、付帯施設、倉庫が各々20.0%となっています。



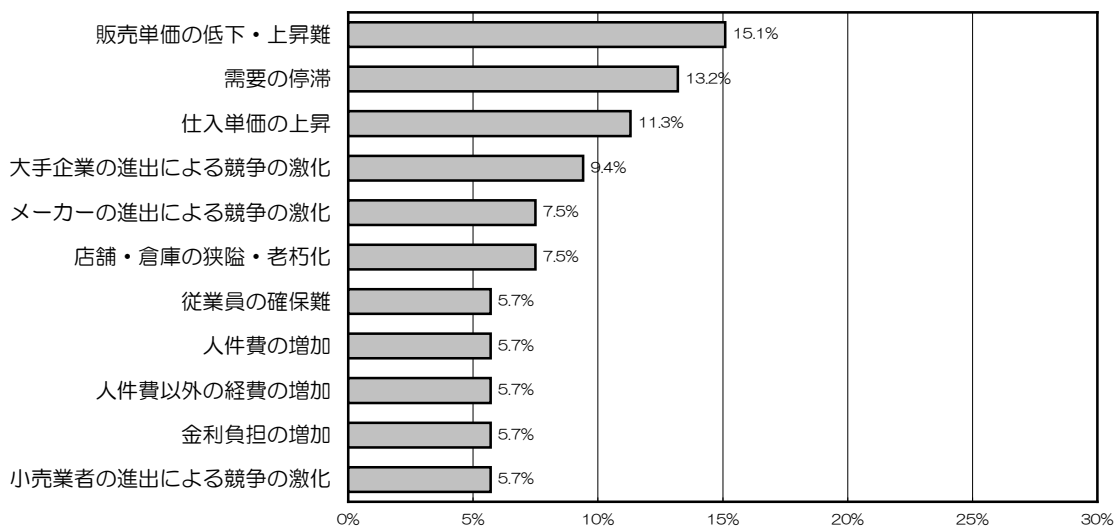
設備投資状況の推移



4. 経営上の問題点

主な経営上の問題点は、第1位が「販売単価の低下・上昇難」で15.1%、第2位が「需要の停滞」で13.2%、第3位が「仕入単価の上昇」で11.3%、第4位が「大手企業の進出による競争の激化」で9.4%、第5位が「メーカーの進出による競争の激化」、「店舗の狭隘老朽化」で7.5%、第6位が「従業員の確保難」、「人件費の増加」、「人件費以外の経費の増加」、「金利負担の増加」、「小売業者の進出による競争の激化」で各々5.7%という結果になりました。

今期直面している経営上の問題点（複数回答）



小売業

2017.4~6月期 (回答93社・・・回答率100.0%)

1. 業況

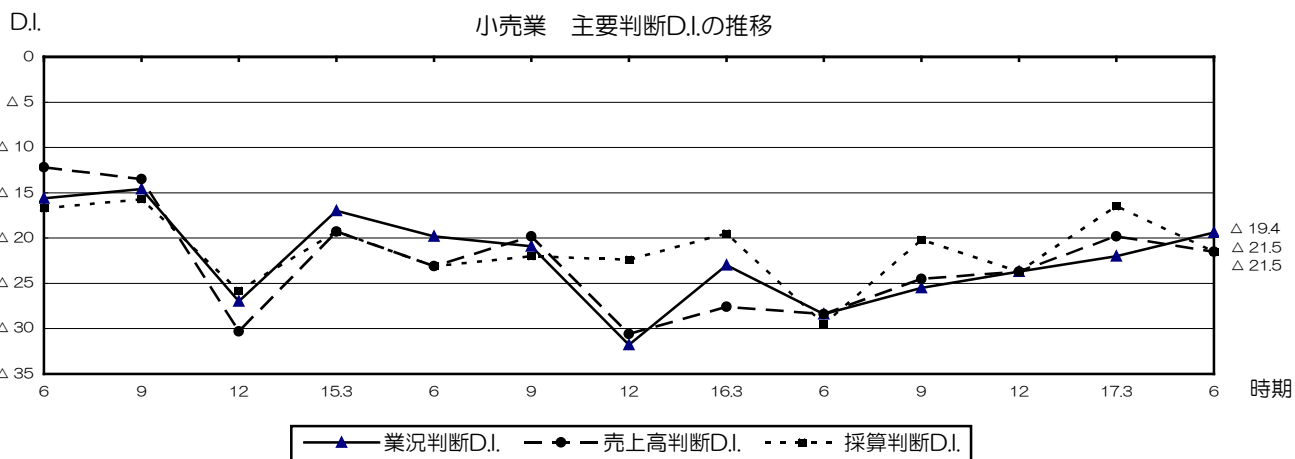
(対前年同期比判断D.I.)

今期(2017.4~6)の業況判断D.I.は $\Delta 19.4$ と、前期(2017.1~3: $\Delta 22.0$)との比較で2.6ポイント改善している一方、従業員増減以外の項目では前期を下回っています。

全国調査との比較では、業況判断D.I.で全国調査の $\Delta 28.7$ を9.3ポイント上回っているほか、仕入単価以外の項目で全国調査の判断D.I.を上回る結果となりました。

来期(2017.7~9)の業況判断D.I.は $\Delta 17.2$ と、今期(2017.4~6: $\Delta 19.4$)との比較で、2.2ポイントの改善を予想しているほか、売上高、資金繰り、従業員増減の項目で今期を上回ると予想しています。

	前 期	今 期	来期見通し	全国調査
業 況	$\Delta 22.0$	$\Delta 19.4$	$\Delta 17.2$	$\Delta 28.7$
売 上 高	$\Delta 19.8$	$\Delta 21.5$	$\Delta 15.1$	$\Delta 29.3$
資 金 繰 り	$\Delta 13.3$	$\Delta 14.0$	$\Delta 12.9$	$\Delta 19.4$
採 算	$\Delta 16.5$	$\Delta 21.5$	$\Delta 21.5$	$\Delta 29.3$
売上単価	$\Delta 11.0$	$\Delta 11.8$	$\Delta 14.0$	$\Delta 22.6$
仕入単価	20.9	8.6	7.6	19.0
在庫数量	$\Delta 4.4$	$\Delta 10.8$	$\Delta 12.0$	$\Delta 18.8$
従業員増減	$\Delta 1.1$	0.0	2.2	$\Delta 4.6$



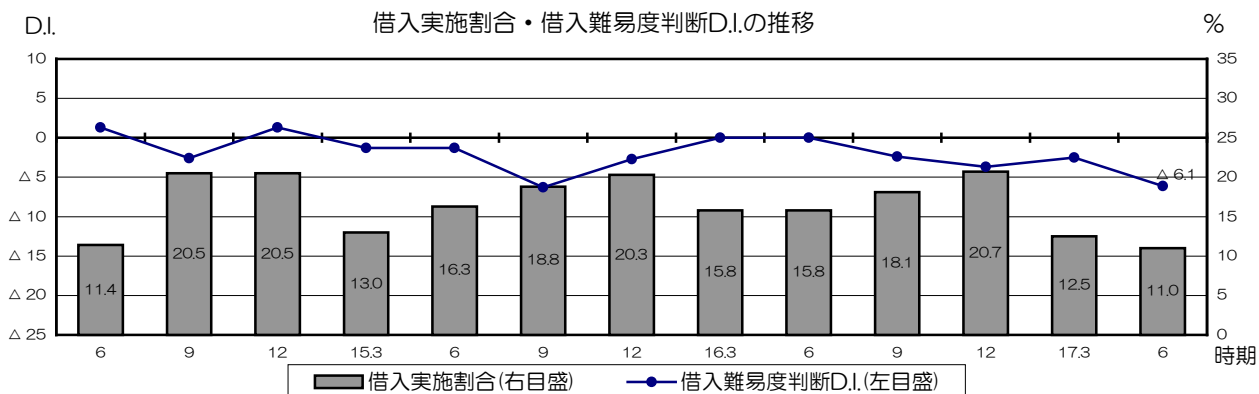
2. 借入金の状況

今期(2017.4~6)借入を実施した企業の割合は11.0%と、前期(2017.1~3: 12.5%)と比較して1.5ポイント減少しました。

来期(2017.7~9)借入を予定する企業の割合は13.4%と、2.4ポイント増加する見込みです。

借入難易度判断D.I.は今期(2017.4~6) $\Delta 6.1$ と、前期(2017.1~3: $\Delta 2.5$)との比較で3.6ポイント悪化しています。

	前 期	今 期	来 期 予 定
借入実施割合	12.5%	11.0%	13.4%
借入難易度判断D.I.	$\Delta 2.5$	$\Delta 6.1$	

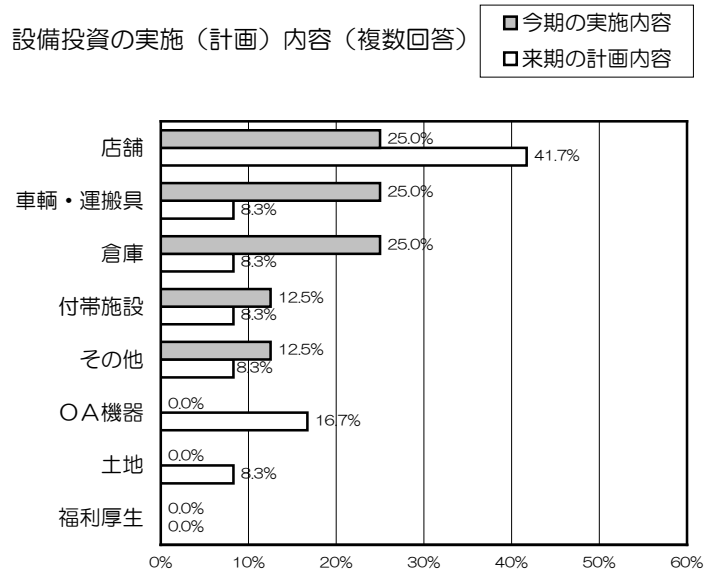


3. 設備投資の状況

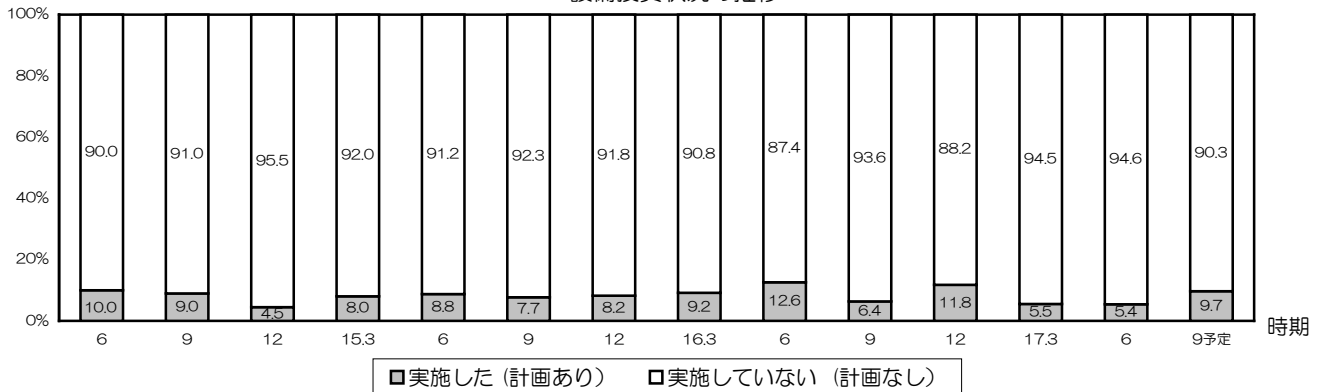
今期（2017.4～6）設備投資を実施した企業の割合は 5.4%と、前期（2017.1～3：5.5%）との比較で0.1ポイント減少しました。設備投資の内訳は、店舗、車輛・運搬具、倉庫が各々25.0%、付帯施設、その他が各々12.5%でした。

来期（2017.7～9）設備投資を計画する企業の割合は 9.7%と、今期（2017.4～6）と比較して4.3ポイント増加する見込みです。設備投資の内訳は、店舗が41.7%、OA機器が16.7%、車輛・運搬具、倉庫、付帯施設、その他、土地が各々8.3%となっています。

設備投資の実施（計画）内容（複数回答）



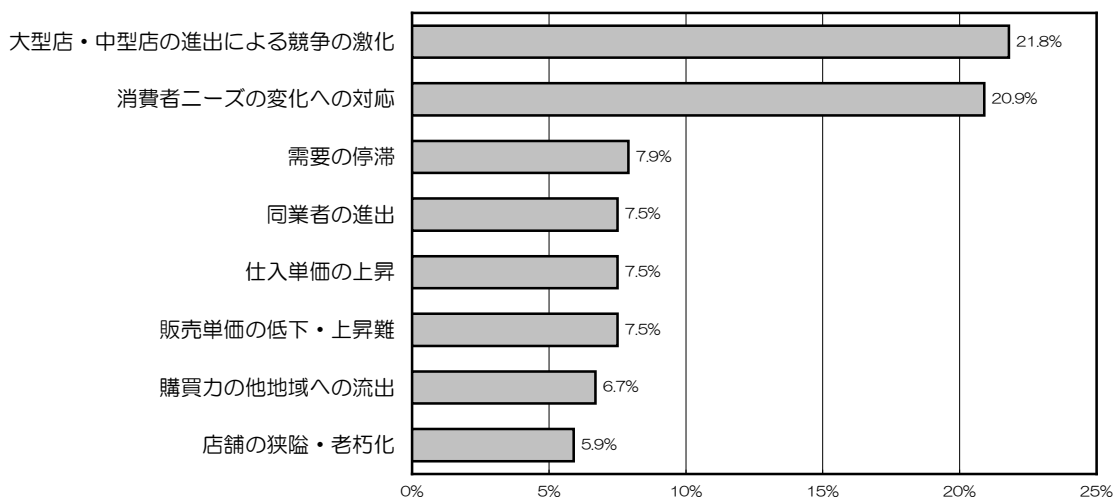
設備投資状況の推移



4. 経営上の問題点

経営上の問題点は、第1位が「大型店・中型店の進出による競争の激化」で 21.8%、第2位が「消費者ニーズの変化への対応」で 20.9%、第3位が「需要の停滞」で 7.9%、第4位が「同業者の進出」、「仕入単価の上昇」、「販売単価の低下・上昇難」で各々7.5%、第5位が「購買力の他地域への流出」で 6.7%、第6位が「店舗の狭隘・老朽化」で 5.9%という結果になりました。

今期直面している経営上の問題点（複数回答）



1. 業況

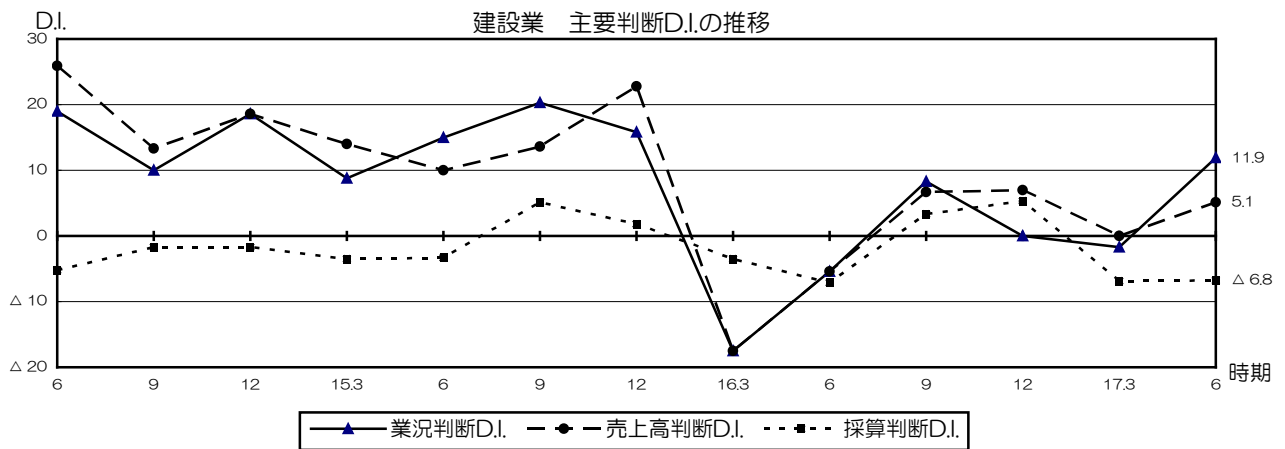
今期 (2017.4~6) の業況判断 D.I.は 11.9 と、前期 (2017.1~3: Δ1.7) との比較で 13.6 ポイント改善したほか、従業員増減以外の項目で前期を上回っています。

全国調査との比較では、業況判断 D.I.で全国調査の Δ8.2 を 20.1 ポイント上回っているほか、材料単価以外の項目で全国調査の判断 D.I.を上回る結果となりました。

来期 (2017.7~9) の業況判断 D.I.は 13.6 と、今期 (2017.4~6) との比較で 1.7 ポイント改善するほか、従業員増減以外の項目で改善すると予想しています。

(対前年同期比判断 D.I.)

	前 期	今 期	来期見通し	全国調査
業 況	Δ1. 7	11. 9	13. 6	Δ8. 2
売 上 高	0. 0	5. 1	11. 9	Δ9. 9
資 金 繰 り	Δ6. 9	Δ1. 7	1. 7	Δ4. 0
採 算	Δ6. 9	Δ6. 8	Δ1. 7	Δ12. 5
受 注 額	Δ5. 3	5. 1	8. 5	Δ12. 9
材 料 単 価	17. 5	20. 3	25. 4	29. 5
従業員増減	13. 8	8. 5	8. 5	Δ0. 8



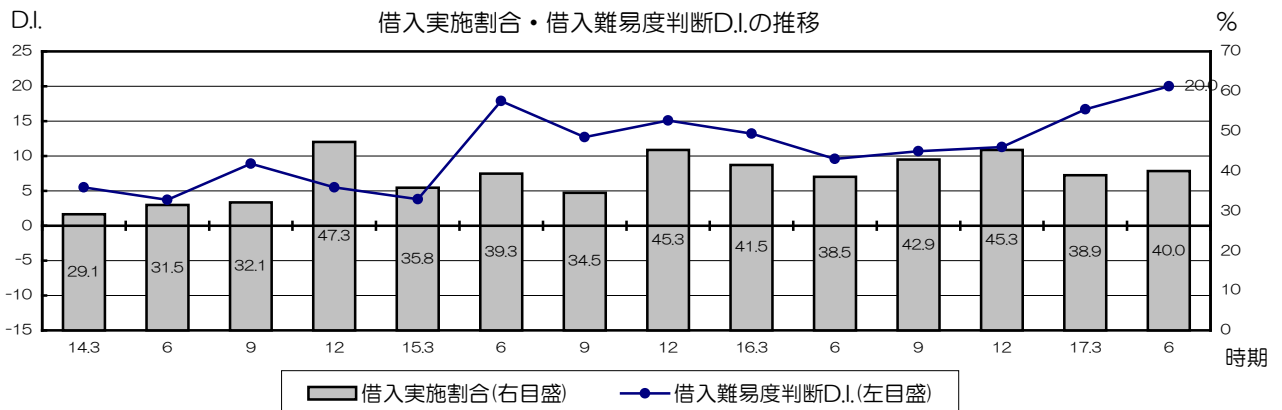
2. 借入金の状況

今期 (2017.4~6) 借入を実施した企業の割合は 40.0%と、前期 (2017.1~3: 38.9%) と比較して 1.1 ポイント増加しました。

来期 (2017.7~9) 借入を予定する企業の割合は 34.5%と 5.5 ポイント減少する見込みです。

借入難易度判断 D.I.は今期 (2017.4~6) 20.0 と、前期 (2017.1~3: 16.7) との比較では 3.3 ポイント改善しています。

	前 期	今 期	来 期 予 定
借入実施割合	38. 9%	40. 0%	34. 5%
借入難易度判断 D.I.	16. 7	20. 0	

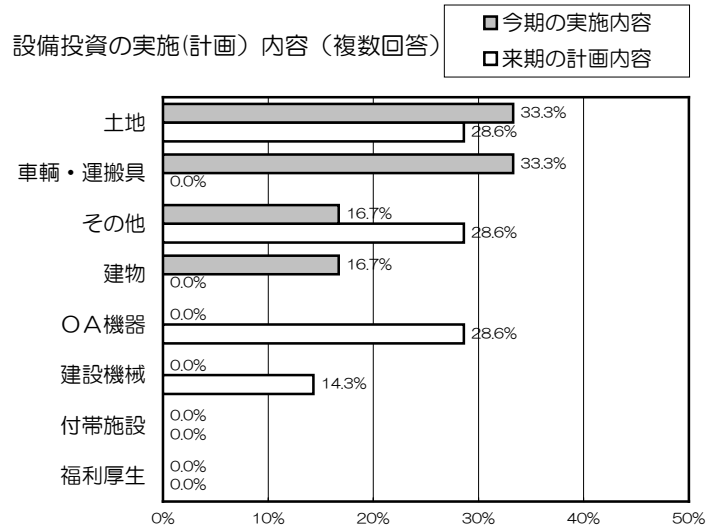


3. 設備投資の状況

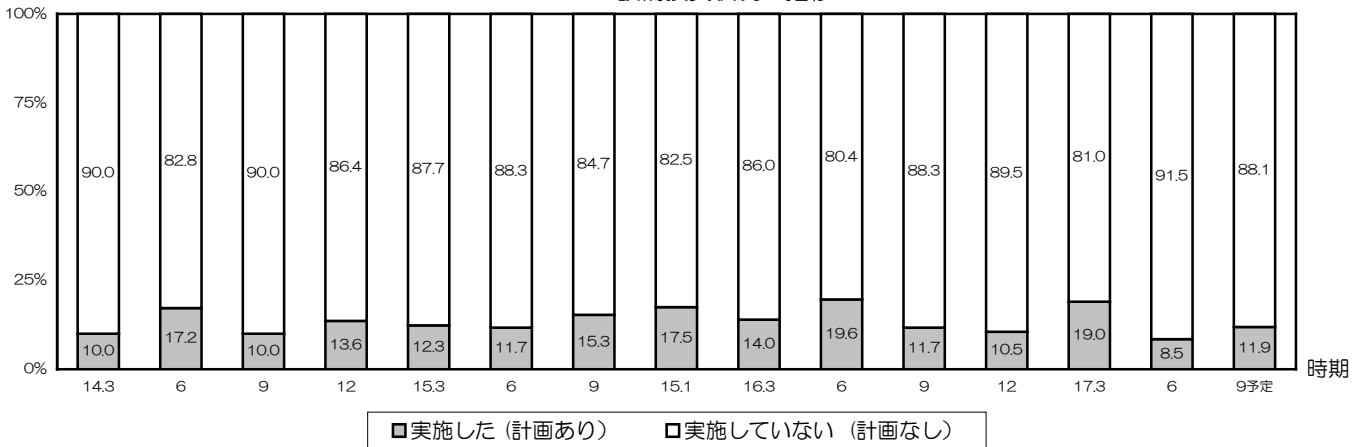
今期（2017.4～6）設備投資を実施した企業の割合は8.5%と、前期（2017.1～3:19.0%）との比較で10.5ポイント減少しました。

設備投資の内訳は、土地、車輜・運搬具が各々33.3%、その他、建物が各々16.7%でした。

来期（2017.7～9）設備投資を計画する企業の割合は11.9%と、今期（2017.4～6）との比較で3.4ポイント増加の見込みです。設備投資の内訳は、土地、その他、OA機器が各々28.6%、建設機械が14.3%となっています。



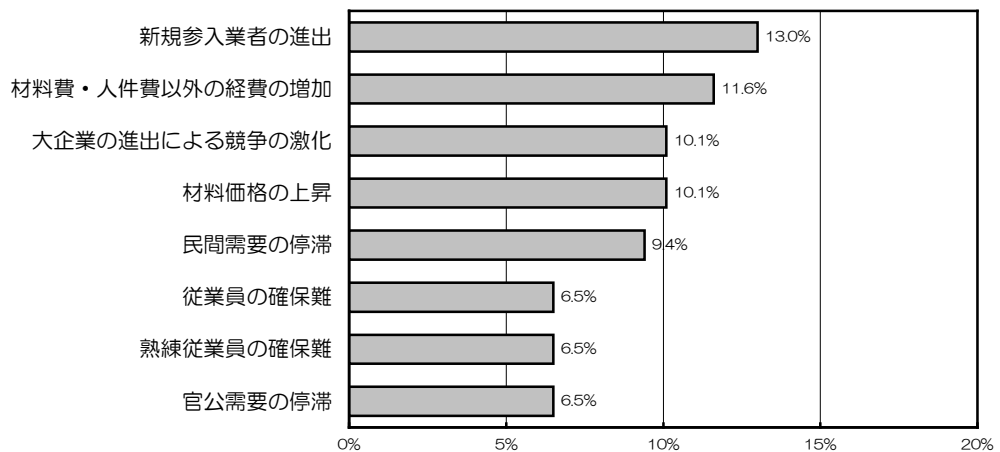
設備投資状況の推移



4. 経営上の問題点

経営上の問題点は、第1位が「新規参入業者の進出」で13.0%、第2位が「材料費・人件費以外の経費の増加」で11.6%、第3位が「大企業の進出による競争の激化」、「材料価格の上昇」で各々10.1%、第4位が「民間需要の停滞」で9.4%、第5位が「従業員の確保難」、「熟練従業員の確保難」、「官公需要の停滞」で各々6.5%という結果になりました。

今期直面している経営上の問題点（複数回答）



サービス業

2017.4~6月期 (回答 82 社・・・回答率 95.3%)

1. 業況

今期(2017.4~6)の業況判断 D.I.は $\Delta 13.4$ と、前期(2017.1~3: $\Delta 7.3$) との比較で 6.1 ポイント悪化しているほか、採算、従業員増減の項目で前期(2017.1~3)を下回っています。

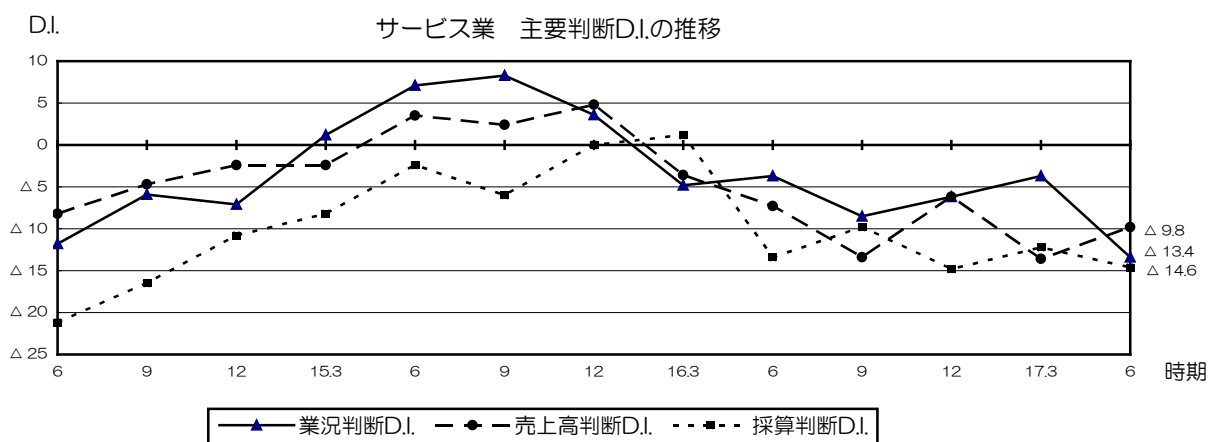
全国調査との比較では、業況判断 D.I.で全国調査の $\Delta 12.5$ を 0.9 ポイント下回っているほか、客単価、仕入単価の項目で全国調査の判断 D.I.を下回っています。

来期(2017.7~9)の業況判断 D.I.は $\Delta 9.8$ と、

今期(2017.4~6)との比較で 3.6 ポイント改善すると予想しているほか、資金繰り、採算、客単価の項目で改善するとしています。

(対前年同期比判断 D.I.)

	前 期	今 期	来期見通し	全国調査
業 況	$\Delta 7.3$	$\Delta 13.4$	$\Delta 9.8$	$\Delta 12.5$
売 上 高	$\Delta 13.6$	$\Delta 9.8$	$\Delta 11.0$	$\Delta 11.2$
資 金 繰 り	$\Delta 4.9$	$\Delta 4.9$	$\Delta 2.5$	$\Delta 10.0$
採 算	$\Delta 12.2$	$\Delta 14.6$	$\Delta 13.6$	$\Delta 17.0$
客 単 価	$\Delta 12.2$	$\Delta 12.2$	$\Delta 11.0$	$\Delta 7.6$
仕 入 単 価	13.6	14.6	11.0	27.6
従 業 員 増 減	0.0	$\Delta 2.4$	$\Delta 8.5$	$\Delta 3.9$



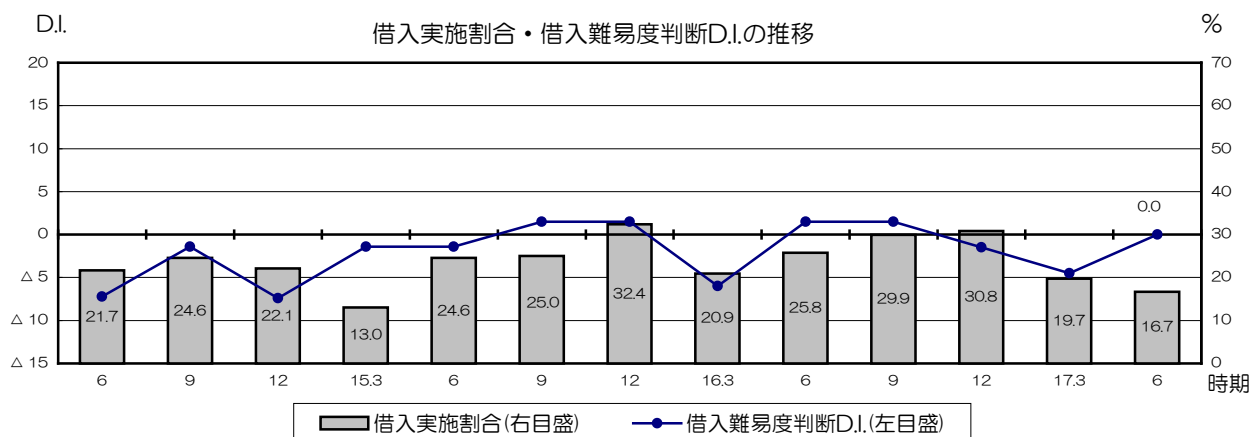
2. 借入金の状況

今期(2017.4~6)借入を実施した企業の割合は 16.7%と、前期(2017.1~3)の 19.7%と比較して 3.0 ポイント減少しました。

来期(2017.7~9)借入を予定する企業の割合は 12.1%と、今期(2017.4~6)との比較で 4.6 ポイント減少する見込みです。

借入難易度判断 D.I.は今期(2017.4~6) 0.0 と、前期(2017.1~3: $\Delta 4.5$) との比較では 4.5 ポイント改善しています。

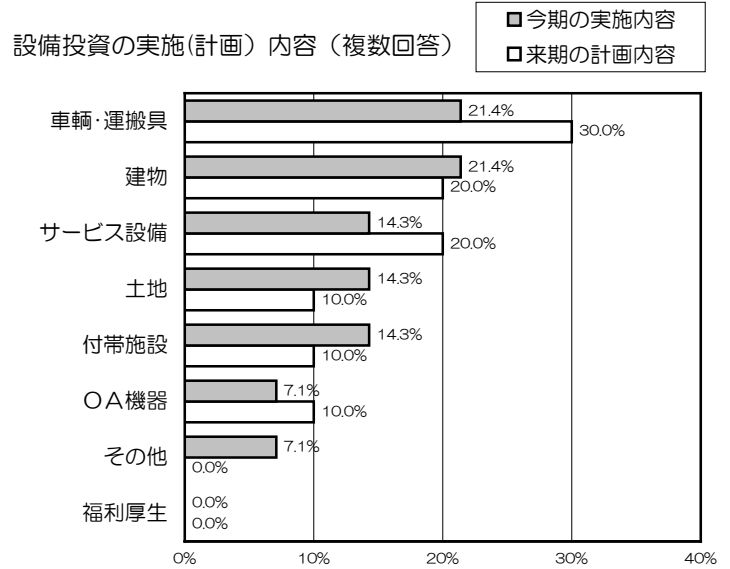
	前 期	今 期	来 期 予 定
借入実施割合	19.7%	16.7%	12.1%
借入難易度判断 D.I.	$\Delta 4.5$	0.0	



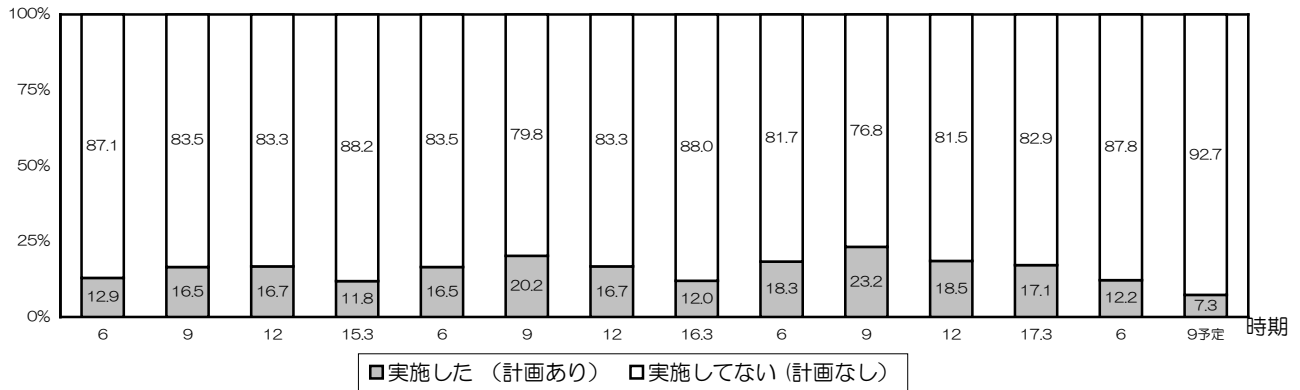
3. 設備投資の状況

今期（2017.4～6）設備投資を実施した企業の割合は12.2%と、前期（2017.1～3：17.1%）との比較で4.9ポイント減少しました。設備投資の内訳は、車両・運搬具、建物が各々21.4%、サービス設備、土地、付帯施設が各々14.3%、OA機器、その他が各々7.1%でした。

来期（2017.7～9）設備投資を計画する企業の割合は7.3%と、今期（2017.4～6）と比較して4.9ポイント減少の見込みです。設備投資の内訳は、車両・運搬具が30.0%、建物、サービス設備が各々20.0%、土地、付帯施設、OA機器が各々10.0%となっています。



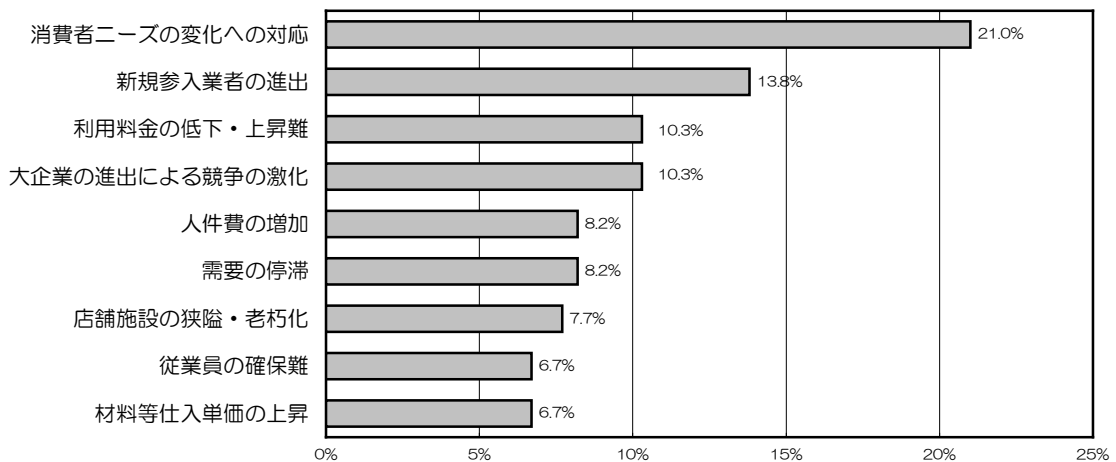
設備投資状況の推移



4. 経営上の問題点

主な経営上の問題点は、第1位が「消費者ニーズの変化への対応」で21.0%、第2位が「新規参入業者の進出」で13.8%、第3位が「利用料金の低下・上昇難」、「大企業の進出による競争の激化」で各々10.3%、第4位が「人件費の増加」、「需要の停滞」で各々8.2%、第5位が「店舗施設の狭隘・老朽化」で7.7%、第6位が「従業員の確保難」、「材料等仕入単価の上昇」で各々6.7%という結果になりました。

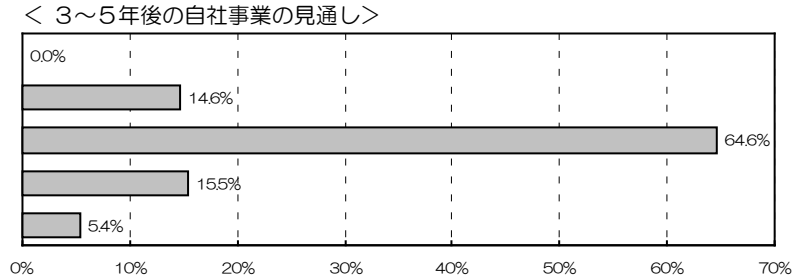
今期直面している経営上の問題点(複数回答)



「中小企業の3～5年後の事業の見通しについて」

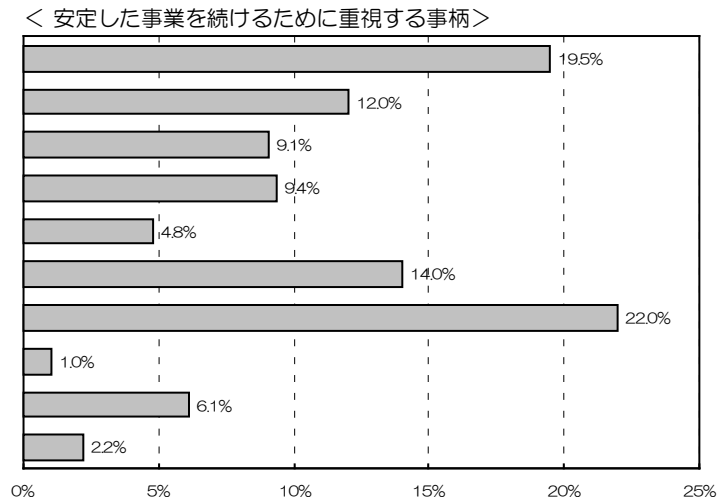
問1 貴社では、3～5年後の自社の事業をどのように見通していますか。次の1～5の中から1つ選んでお答えください。

1. 明るい
2. やや明るい
3. どちらともいえない
4. やや暗い
5. 暗い



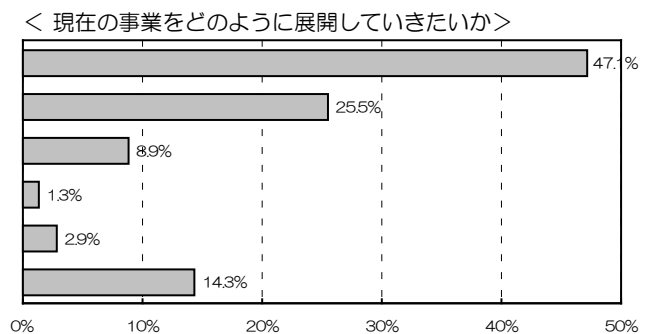
問2 貴社では、3～5年後に向けて安定した事業を続けるために重視する事柄について、どのようにお考えですか。以下の1～10の中から3つ以内で選んでお答えください。

1. 人材
2. 資金
3. 設備・機械等
4. 経営組織・体制（経営力）
5. 外部情報の入手
6. 技術・ノウハウ
7. 販路・取引先
8. 協力機関との連携（産学官連携等）
9. 事業承継等
10. 事業承継の意思なし（廃業）



問3 貴社では、3～5年後に向けて、現在の事業をどのように展開していきたいとお考えですか。以下の1～6の中から、最も当てはまるものを1つ選んでお答えください。

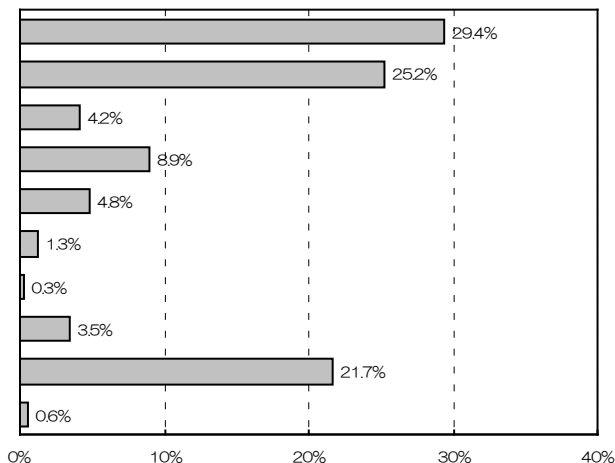
1. 現在の事業を、現状のまま継続したい
2. 新しい販路・市場を開拓したい
3. 新しい製品・商品・サービスを開発したい
4. まったく異なる事業を手がけたい
5. 事業は縮小・撤退する
6. 特に考えていない（わからない）



問4 貴社では、3～5年後に向けて安定した事業を続けるために、どのような状況になれば積極的な設備投資を開始しますか。次の1～10の中から1つ選んでお答えください。

＜どのような状況になれば積極的な設備投資を開始するか＞

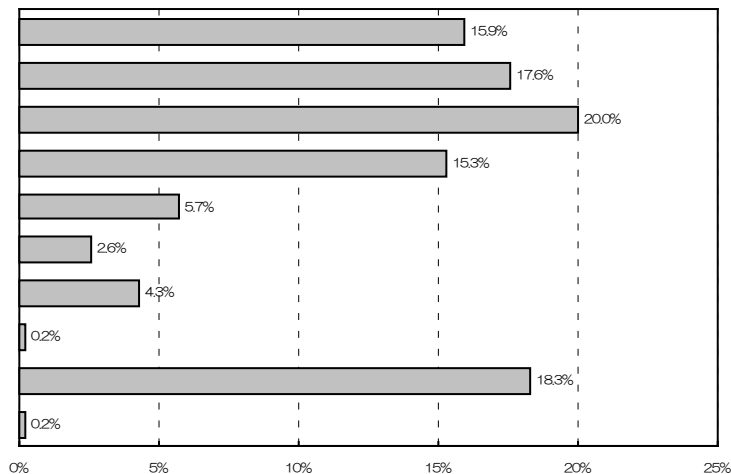
1. 景気の先行き不透明感の払拭
2. 自社の業況の改善
3. 設備投資税制優遇や補助金等の拡充
4. 設備の陳腐化・老朽化
5. 事業承継の問題解消
6. IT化投資の必要性増大
7. 業種転換
8. すでに積極化している
9. そもそも積極的な設備投資を行うつもりはない
10. その他



問5 貴社では、3～5年後の事業の継続・発展へ向けて、公的機関、商工会議所、商工会、金融機関等の経営相談窓口からどのような支援を受けたいですか。以下の1～10の中から3つ以内で選んでお答えください。

＜経営相談窓口からどのような支援を受けたいか＞

1. 事業計画、経営戦略の策定支援
2. 人材確保・育成支援
3. 販路開拓・マーケティング支援
4. 補助金・助成金の活用支援
5. 事業承継支援
6. IT・HP・SNS活用支援
7. 製品・商品・サービス開発支援
8. 海外展開支援
9. 特に支援を必要としていない
10. その他



集計結果 (2017. 4~6月期)

(単位：%)

		今期の状況								来期見通し			
		対前年同期比				対前期比				対前年同期比			
		良い	不変	悪い	D.I.	良い	不変	悪い	D.I.	良い	不変	悪い	D.I.
全業種	業況	10.3	70.1	19.6	△ 9.2	6.5	78.3	15.2	△ 8.7	10.9	75.0	14.1	△ 3.3
	売上	11.4	66.0	22.6	△ 11.1	9.5	71.7	18.8	△ 9.3	12.8	72.5	14.7	△ 1.9
	資金繰り	4.1	85.3	10.6	△ 6.5	3.5	87.5	9.0	△ 5.4	5.4	85.6	9.0	△ 3.5
	採算	3.8	80.7	15.5	△ 11.7					5.4	80.4	14.2	△ 8.7
	従業員増減	9.6	81.1	9.3	0.3					9.4	85.6	5.0	4.4
	借入難易度					11.3	82.7	6.0	5.3				
製造業	業況	11.9	67.9	20.2	△ 8.3	8.3	78.0	13.8	△ 5.5	15.6	76.1	8.3	7.3
	売上	12.8	63.3	23.9	△ 11.0	12.8	69.7	17.4	△ 4.6	19.4	70.4	10.2	9.3
	資金繰り	4.6	85.3	10.1	△ 5.5	4.6	87.2	8.3	△ 3.7	7.3	84.4	8.3	△ 0.9
	採算	6.4	80.7	12.8	△ 6.4					9.2	81.7	9.2	0.0
	原材料単価	20.2	78.0	1.8	18.3					20.2	78.0	1.8	18.3
	原材料在庫	5.5	89.9	4.6	0.9					4.6	89.9	5.5	△ 0.9
	従業員増減	16.7	74.1	9.3	7.4					16.0	81.1	2.8	13.2
	設備操業率	7.3	78.9	13.8	△ 6.4					11.0	83.5	5.5	5.5
借入難易度					17.9	77.9	4.2	13.7					
卸売業	業況	4.0	80.0	16.0	△ 12.0	4.0	92.0	4.0	0.0	4.0	76.0	20.0	△ 16.0
	売上	4.0	76.0	20.0	△ 16.0	4.0	88.0	8.0	△ 4.0	12.0	72.0	16.0	△ 4.0
	資金繰り	8.0	84.0	8.0	0.0	8.0	84.0	8.0	0.0	12.0	80.0	8.0	4.0
	採算	4.0	92.0	4.0	0.0					8.0	84.0	8.0	0.0
	売上単価	0.0	88.0	12.0	△ 12.0					4.0	76.0	20.0	△ 16.0
	仕入単価	16.0	76.0	8.0	8.0					24.0	76.0	0.0	24.0
	在庫数量	12.0	80.0	8.0	4.0					12.0	80.0	8.0	4.0
	従業員増減	8.3	83.3	8.3	0.0					12.5	83.3	4.2	8.3
	借入難易度					0.0	90.0	10.0	△ 10.0				
小売業	業況	7.5	65.6	26.9	△ 19.4	4.3	72.0	23.7	△ 19.4	4.3	74.2	21.5	△ 17.2
	売上	7.5	63.4	29.0	△ 21.5	7.6	67.4	25.0	△ 17.4	7.5	69.9	22.6	△ 15.1
	資金繰り	2.2	81.7	16.1	△ 14.0	1.1	87.1	11.8	△ 10.8	2.2	82.8	15.1	△ 12.9
	採算	2.2	74.2	23.7	△ 21.5					2.2	74.2	23.7	△ 21.5
	売上単価	4.3	79.6	16.1	△ 11.8					2.2	81.7	16.1	△ 14.0
	仕入単価	15.1	78.5	6.5	8.6					14.1	79.3	6.5	7.6
	在庫数量	4.3	80.6	15.1	△ 10.8					4.3	79.3	16.3	△ 12.0
	従業員増減	4.4	91.2	4.4	0.0					5.5	91.2	3.3	2.2
	借入難易度					2.4	89.0	8.5	△ 6.1				
建設業	業況	16.9	78.0	5.1	11.9	8.5	86.4	5.1	3.4	18.6	76.3	5.1	13.6
	売上	16.9	71.2	11.9	5.1	11.9	81.4	6.8	5.1	13.6	84.7	1.7	11.9
	資金繰り	3.4	91.5	5.1	△ 1.7	1.7	93.2	5.1	△ 3.4	3.4	94.9	1.7	1.7
	採算	3.4	86.4	10.2	△ 6.8					3.4	91.5	5.1	△ 1.7
	受注額	15.3	74.6	10.2	5.1					16.9	74.6	8.5	8.5
	材料単価	20.3	79.7	0.0	20.3					25.4	74.6	0.0	25.4
	従業員増減	8.5	91.5	0.0	8.5					10.2	88.1	1.7	8.5
	借入難易度					21.8	76.4	1.8	20.0				
サービス業	業況	8.5	69.5	22.0	△ 13.4	6.1	75.6	18.3	△ 12.2	8.5	73.2	18.3	△ 9.8
	売上	12.2	65.9	22.0	△ 9.8	7.3	67.1	25.6	△ 18.3	9.8	69.5	20.7	△ 11.0
	資金繰り	4.9	85.2	9.9	△ 4.9	4.9	85.2	9.9	△ 4.9	6.2	85.2	8.6	△ 2.5
	採算	2.4	80.5	17.1	△ 14.6					4.9	76.5	18.5	△ 13.6
	客単価	2.4	82.9	14.6	△ 12.2					2.4	84.1	13.4	△ 11.0
	仕入単価	17.1	80.5	2.4	14.6					13.4	84.1	2.4	11.0
	従業員増減	7.3	82.9	9.8	△ 2.4					3.7	84.1	12.2	△ 8.5
	借入難易度					7.6	84.8	7.6	0.0				

伊勢崎佐波地区 景気動向調査 No.57

発行 伊勢崎商工会議所 相談課

群馬県伊勢崎市昭和町3919

TEL0270-24-2211

<http://www.isesaki-ccior.jp>

アイオー信用金庫 経営企画部

群馬県伊勢崎市中央町20番17号

TEL0270-30-5001

<http://www.io-web.jp>

このレポートは、調査時点における当金庫及び当商工会議所の見解をまとめたもので、情報提供を目的としております。また、当金庫及び当商工会議所が信頼できると判断した情報やデータに基づいてこの資料は作成しておりますが、この情報の正確性・安全性等について当金庫及び当商工会議所が保証するものではありません。

このレポートの活用に関しては何の制限もございませんが、施策の決定や実行などの最終決定は、ご自身の判断でなされますようお願いいたします。